

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジャンプステージ		
○保護者評価実施期間	2025年2月17日		2025年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年2月17日		2025年3月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別、小集団、大集団と段階をふんでトレーニングしていただける支援を作っており、その日の調子も踏まえた上で、子供達同氏も助け合ったり、競い合ったりする環境を作って、集団行動や助け合いの精神を学べるようにしています。	大人が先回りして問題をあらかじめ除外するのではなく、問題を本人が解決できるように陰ながら支援や助言をしつつ、解決方法を学んでいけるように意識して支援しております。	保護者の方ともより深く支援についての理解をしていただき、保護者の方も自宅でも事業所の支援に近い事ができるようにペアレントトレーニングを通して、保護者の方にも療育を学んでいってもらえるような取り組みをしています。
2	療育や運動の道具が充実しており、子供の特性に合わせて色々な支援をする事ができます。	特定の疾患等で子供に対して「この疾患の特徴はこれ」と先入観を持ってしまわないように、その子の個性と捉えて個々を分類せずに子供を一人の人格として受け止めるように意識する取り組みをおこなっています。	事業所でも新たに保育所等訪問支援の指定をいただきましたので、学校や園にもアプローチをしていき総合的なサポートをしていける体制を作っていけるように取り組んでいます。
3	先生たちをしっかりと研修しており、新人研修後も月に1回は外部から講師を読んで心理の勉強をしたりと、保護者の方へも専門的な目線から相談ののったりする事ができます。	子供達の支援方法や支援内容について定期的に職員全員で児童会議を開き、情報共有をすると共に支援内容について議論しております。	先生それぞれの専門性を高める為に、先生達に個人目標を設定してもらい事業所側で支援できる部分は支援していき、先生も目標に向かっていける様に取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々の能力が高く専門性も高いのだが、それをしっかりと保護者の方にも理解しやすく説明できるようにプレゼンテーション力を高める事が課題だと思います。	今まで人前で発表等をした経験の差が大きく、そういった経験が少ない先生は分かりやすく伝える事があまり上手にできずに保護者の方に正しく情報を伝えきれていない事があると感じる。	事業所での独自の試験を設けて、そこで議題に沿ったプレゼンテーションをしてもらい、試験に合格できるように研修等を行っている。
2	個々にPCを用意しているが、PCスキルにバラツキがある為、先生ごとに書類作成にかかる時間が異なるので、その時間をもっと直接支援にあてるように書類業務の簡素化が課題だと思います。	PCの勉強をしたことがある先生と無い先生がいるのと、書類をまとめるスキルがそれぞれ異なる為、書類作成に使う時間に大きな開きがある。	AIを取り入れて情報をまとめる部分はAI等でベースを作り、そのベースを元に個々の先生達の知見を含めて書類を作成するように工夫していています。
3			